



沈砂池の水はこっており、においもする

小さなごみや泥などは最初沈でん池の底に沈ませ、少しきれいになった水は、反応タンクでよごれを食べる微生物の働きによってさらにきれいになり、最後に消毒したのち、川に流されています。この水は、下流の大坂で水道水の原水として利用されるため、高度な処理方法で下水処理され川の浄化に役立っています。



最終沈でん地の水はほぼ透明でにおいもない

こども記者の作品公開！

こども記者の作品を琵琶湖疏水記念館で展示します。詳しくは裏面へ



植田 碧さん



丹羽 学くん



西京高校新聞部



山下 韶起くん

比べてわかる「水道水」

約1万人に聞きました

おいしい！	環境にやさしい！	安心安全！
水道水とミネラルウォーターを飲み比べると…	みんなの所へ届くまでのエネルギー量は？	水質検査で調べる項目の数は？
1位 水道水	水道水 水道管を通して各家庭に届く	水道水 70項目
2位 日本のミネラルウォーター	ミネラルウォーター ペットボトルをつくって、船やクルマで運ぶ	ミネラルウォーター 約510円
3位 外国のミネラルウォーター		
1.7倍	1/700	1/400

みんなで飲もう！京都の水道水！

こども記者たちの感想です

●琵琶湖から来て、また川にもどるまでの水の旅を知ることができ、楽しかったです。『丹羽学君（第四錦林小学校）』

●水道水は工場で安くして販売しているので、水道水を飲もうと思いました。『山下韶起君（桂川小学校）』

●私たちの使った水が大阪の人たちの水になるんだと知つて、水を大切に使うようになりました。『水野原哉君（洛西中学校）』

●下水流れるのに自然の高低差を使っていたり、微生物を使って処理していることに驚きました。『則武景希君（西京高等学校新聞部）』



きれいになった水にびっくり！

次に訪れたのは蹴上浄水場です。ツツジの名所としても知られ、毎年春には一般公開が実施されます。ここは、飲料水を確保するためにつくられた第二疏水の完成に伴い、1912（明治45）年にできた、日本初の急速ろ過式浄水場です。



●飲水するために、多くの手間がかっているんだね。

●水を大切に使うことは、地球温暖化防止にも役立つんだ。

明治時代の先人の知恵にびっくり！

びわこそすいしきう 琵琶湖疏水取水口

明治の初め、都が東京に移ったためさびれてしまった京都のまちを元気づけるため、時京都府知事事務官道は、琵琶湖の水を京都まで引く疏水をつくることを提案しました。1885（明治18）年に工事が始まり、完成は1890（明治23）年。当時日本最長の第一トンネルをはじめとする難工事を指揮したのは田辺朝郎という大学を出たばかりの若い技術者で、琵琶湖（標高86m）から蹴上（同82m）まで、わずかな高低差を利用して自然に水が流れるように工夫しています。コンピュータも掘削機械もない時代、もっぱら人力による大工事でした。

疏水に舟を通して物資の運搬に利用されたほか、農業用水に使ったり、蹴上には日本初の事業用水力発電所がつくられて電気鉄道が走るようになるなど、京都の産業の発展に貢献しました。（※大阪湾の水面からの高さ）



琵琶湖からほど近い第一疏水の取水口付近で



舟が往来できるよう水位を調整するための大津閘門

京の水を巡る旅

2015（平成27）年2月14日（土）主催によるツアーアクティビティが実施され、こども記者10名をはじめとする22名が参加しました。私たちの暮らしに欠かすことのできない水道水はどのようにしてつくられる、使われたあとの水はどうやって処理されいるのでしょうか。こども記者といっしょに、水を巡る旅に、さあ出発！

ここがポイント！

- 工事ではぜひ人もでたんだ。感謝して、水を大切にしなくちゃ。
- 今から130年も前に、こんなすごい工事をしたなんて、昔の人は偉い！



ごみを減らすための新しいルール

ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」がスタート！

Q1 京都市のごみの量は今どうなっているの？

京都市のごみの量は、皆さんが力を合わせて減量に取り組んでくださっているおかげで、ピーク時の年間82万トンから4割以上減り、46万トンまで減らすことができました。ごみを燃やすクリーンセンター（清掃工場）も、5つから3つにまで減らすことができました。ありがとうございます。

でも、まだまだごみの減量を進めていく必要があります。



京都市では、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年（平成32年）度までに、ごみ量をピーク時の半分以下に減らすため、新しいルールがスタートします。

Q2 なぜ、ごみを減らさないといけないの？

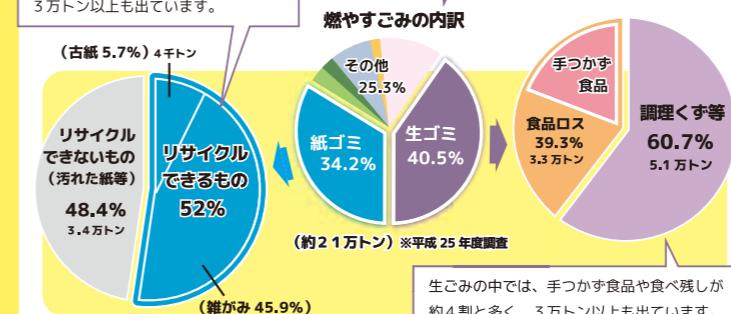
私たちは、毎日の暮らしの中でたくさんの資源を使い、たくさんのごみを出しています。このままでは資源がなくなってしまいます。

しかも、ごみを燃やした後にできる「灰」を処分できる場所は、京都市には「エコランド音羽の杜」ただひとつしかありません。



Q3 どんなごみがたくさん出ているの？

紙類の中では、新聞・ダンボール以外のリサイクルできる紙類が4割以上、3割は紙類で7万トン以上出ています。



生ごみの中では、手つかず食品や食べ残しが約4割と多く、3万トン以上も出ています。

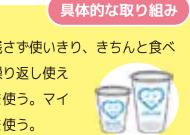
そもそもごみにしなくていい食べ残しや、リサイクルできる紙類を燃やしてしまうのは、本当にもったいないよね。

Q4 新しいルールの内容は？

1つめは「2R」、2つめは「分別・リサイクル」です

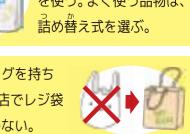
「2R」とは？

ごみになるものを作らない、買わないなど、そもそもごみになるものを減らす「リデュース」と、使えるものは繰り返し使う「リユース」の2つのRのことです。



「分別・リサイクル」とは？

「リサイクル」とは、使えなくなったものを資源として再び使うことです。「リサイクル」を進めるため、生ごみなどの燃やすごみ、缶・びん・ペットボトルなどの資源ごみ・家具などの大型ごみ、新聞・ダンボールなどの「紙類」を、それぞれきっちり分けて、決められた方法で出す必要があります。このように、ごみを分けて出すことを「分別（ぶんべつ）」といいます。



「2R」と「分別・リサイクル」でみんなでごみを減らしましょう！

